

目指せ！最年少技術士！！ 工業高校でも実施しています 「技術士を知ろう！」 in 北海道札幌工業高校」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)の「技術士を知ろう！」。2019年度の活動第5弾は、北海道札幌工業高等学校の2年生を対象に実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て実施しています。

2. 実施概要

開催日時：2019.10.16(水)9:50～11:40

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

3年生との取組事例紹介

対象者：札幌工業高校 土木科2年生74名

参加幹事：小澤、千葉、永井、塩見、木本(記)

(ミライ研5名)、

高田、藤井(青技交2名)

3. 技術士資格の説明、制度概要等

札幌工業高校での「技術士を知ろう！」は、まず小澤技術士より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

自身の会社での処遇等も交えた説明に加え、道外ですが同じ工業高校で第1次試験に合格している事例を紹介すると、ずいぶん身近な“自分ごと・自分たちごと”として認識してくれたようでした。

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(高田技術士)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは札幌工業高校OBでもある高田技術士から、関わってきた仕事の紹介

をしました。自分の職歴を交えて公務員(北海道開発局)という立場で取り組んでいる仕事、災害対応の経験等も紹介し、その中での技術士という資格の役割や重要性などを説明しました。OBということもあって、学生たちは熱心に耳を傾けていました。



写真-1 冒頭の概説を行う小澤技術士(代表)
その説明は、すっかり「安定」の域に達しています



写真-2 OBとして熱く語る高田技術士(青技交 幹事)
やはりOBの“生の声”は学生さんに届きます

(2) 技術士の仕事(藤井技術士)

続いて日本データサービス(株)に所属する藤井技術士から、自身の担当している計画づくり等に関する仕事と、技術士になったきっかけ等を紹介しました。比較的年代の近い若手技術士の話で、高校生には伝わりにくくなりがちな行政計画の策定等についても丁寧な説明をしてくれました。また、技術士資格を取得したことで変わったこと等を率直な言葉で伝えたことで、業界の魅力や資格の重要性が学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

5. 3年生との取組事例紹介

講演最後は、日本データサービス(株)に所属する永井技術士から対象学生の1年先輩である、札幌工業高校の3年生と協働で取り組んでいる事例を紹介しました。昨年からスタートした、札幌市内の広場活用に関する取り組みに関するもので、地域の方々の思いを形にするという課外授業のような位置づけで実施しているものです。

対象の広場で実際に3年生が測量、図面作成、施工等を担当。その3年生の学生数名が2年生に取り組み内容を紹介し、学校で勉強したことを実社会に適用する面白さや難しさを1年先輩が説明したことで、説明を担当してくれた3年生はもちろん、授業を受けていた2年生の学生も、いろいろ考える機会になったようです。

6. 質疑応答

他校での実施と同様、質疑応答は各プレゼン終了後に学生の皆さんから各プレゼンターに対しての質問を記入していただき、そのうち何問かを抽出して回答する形で実施しています。筆者の進行で実施した今回も数多くの質問が寄せられ、参加幹事から丁寧に回答させていただきました。

7. まとめ

学生からの感想には「親から技術士は取得した方がいいと言われていましたが、今回の授業で技術士を取りたいと思いました。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケー

トでは、有効回答数72人中62人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、72人中54人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価で4.4、4.5と高評価をいただきましたが、特に1年先輩である3年生が説明したことが、将来を考える上での大きなきっかけになったようです。

なお、ほかの学校等でもそうですが、札幌工業高校での出前講座の実施は川村先生、梶先生の多大なご支援やご協力があって実施できています。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。



写真-3 言葉使い等の工夫で高校生にもわかりやすい講演だった藤井技術士(青技交 幹事)：質疑応答の様子



写真-4 冒頭で講義の趣旨説明をしてくださる札幌工業高校の川村先生